



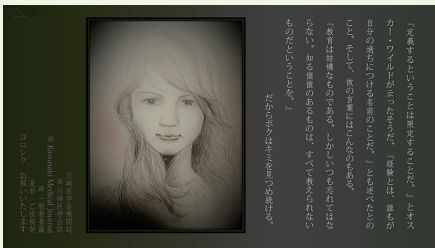
radio Camnetに続くマガジン版 雲心月性

大槻ワールドへようこそ

Camnet マガジンをお楽しみにの皆様。マガジン版「雲心月性」です。いかがお過ごしですか？

大槻は2021年3月末まで在籍していました川崎医科大学の中の川崎医学会の運営委員長でデジタルサイネージに機関誌への投稿を促すライドを月の前半2枚、後半2枚で流しています。Ms. Keiko Cの描いたイラスト、Ms. Saori Tの絵作品と僕の写真です。

2021年の3月と、初期の頃の3～月のライドを紹介します。



3月初回は上巳の節句、桃の節句。
しかし、まだまだ心に憂いを抱く女性も。



そして、ホワイトデーには、お返しを。



この青空が春を予感させます。
春休みが一番のんびりしますね。



そして、河津桜も咲き誇っています。



そろそろ入学式。



土筆が顔をだしました。
大学の「ふるさとの森」は満開。



これは、美味しそう！

--*-*-*-*-*-*-*-*-*

さて、オリジナル曲の歌詞紹介。「春の小窓」は、大槻の作詞作曲です。サブスクなどではリリースしていませんが……。

……………
狭すぎる窓には 眩しすぎるよ 空
俯いた君には 春は 似合いっこない

突然のサヨナラ 信じられずに 今
溜息を集めた 白い部屋に一人で
ここまでおいで 窓の外まで
春は 待っているから
淋しさだけの 冷えた心は
春が 暖めてくれる

そよ風のおしゃべり 優しすぎると 君
泣きそうな小指が そっと サヨナラ綴る
狭すぎる窓でも 鍵を開いて ほら
俵せの足音 すぐに聞こえ出すから
ここまでおいで 窓の外まで
春は 待っているから
淋しさだけの 冷えた心は
春が 暖めてくれる

二か月分のコラムですので、時事的な話題は避けてしまいますが、COVID-19の3回目のワクチンの接種も進んで、もう波が来ていなければと、祈っています。
よい春になりますように。

♪オリジナルCD
プレゼントします！
詳しくは
プレゼントコーナーで

プロフィール 大槻 剛巳
(おおつき たけみ)

新庄村国保診療所で内科医師として勤務
0歳：京都府福知山市にて生誕
14歳：京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位
14歳：KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用
15歳：倉敷市にて転居
15 & 18歳：NHKあなたのメロディー出演
18歳：YAMAHAポプコン全国大会(譜面の部)出場
20歳：YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり
24歳：川崎医科大学卒業
以降：川崎医科大学血液内科～衛生学にて診療・研究・教育に従事
1992-1996年：米国留学(医学研究)
1996年：岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載
2009年：Camnet CH-F(10-19)パーソナリティ担当
2021年3月、川崎医科大学衛生学教授を退官。現在に至る